

岐阜県議会議員選挙(養老郡選挙区)の結果



村下貴夫さんが、無投票で6期目の当選を果たしました。

町民の皆さまの視点を大切にし、諸問題の解決のために皆さまとの対話の中で得た提言を県政に反映させていきます。
人口減少・少子高齢化が進行している状況下でも、「養老町」「岐阜県」の地方創生を確実に前進させるため、活力があり元気な地域づくり・安全で安心できる地域づくり・それらを支える人づくりを3本柱として、初志を忘れず、6期目も全力を傾注して取り組んでまいります。

6期目の抱負

第20回統一地方選挙 岐阜県議会議員選挙(養老郡選挙区)は、3月31日(金)に告示され、現職の村下貴夫さん(自由民主党・現職・押越)以外に立候補の届け出がなかったため、無投票で6期目の当選となりました。
当選された村下貴夫さんは、わたしたちの代表として、引き続き、今後4年間の県政を担われることとなります。これまでと同様、郷土の更なる発展に尽力され、ご活躍いただけることと大きな期待が寄せられています。



まちの話題

西美濃古代皇族の歩みに思いを馳せる

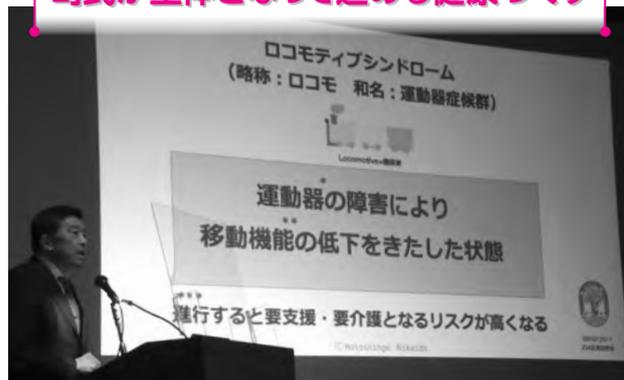


3月26日(日)に、町民会館 大ホールにて、令和2年度から養老町と関ヶ原町の協働で実施してきた西美濃古代皇族の歩み探訪事業の成果報告会を開催しました。

ふたつの町をつなぐ、いにしへの歩みを辿るべく、地域共有の歴史資源や文化遺産を自治体の垣根を越えて調査を行ってきました。3年間にわたる調査の集大成となる報告会には、町内外から多数の申し込みがあり、200人を越える人の参加がありました。

多芸と不破が紡ぎ出した歴史は、多くの人に伝承され、後世へと語りつがれていきます。

町民が主体となって進める健康づくり



3月11日(土)に町民会館 大ホールで、町民の健康状態や健康課題、地域における健康づくり活動に関する情報、当町の健康づくりの方針を皆さまと共有することを目的として、第1回 地域住民が主体となった健康づくりフォーラムin養老が開催されました。

養老郡医師会と広幡地域自治町民会議による健康増進の取り組み事例の発表や、全国ストップ・ザ・ロコモ協議会理事である二階堂元重先生による「ロコモと子どもロコモ ～いま子どもの運動器機能に異変が～」をテーマとした講演が行われ、参加者は健康であり続けるためにはどう過ごすべきなのか考えながら、耳を傾けていました。